

雲南ブランド化プロジェクト

ラッピングバス運行開始

雲南ブランド化プロジェクトの取り組みを市民の皆さんにPRするため、広域路線バスに雲南レッドを基調とし、車体の中央部にキャッチフレーズとなる「幸運なんです。雲南です。」のロゴをあしらったラッピングが施されました（ラッピングバス）。

7月21日、市民バス駐車場（大東総合センター付近）で行われたラッピングバス出発式には、市の関係者や夏休みに「ふるさと雲南キヨロキヨロ探検バスポート」（通称・キヨロバス）を利用する大東中学校生徒など約40人が参加しました。

雲南市を代表してあいさつした土江教育長は、初運行のバスに乗る喜びを「まさに、幸運なんです。雲南です。」と表現し、乗客の皆さんを歓迎しました。中学生に対しては「夏休みは、学校で学んだことを実際に見たり、感じたりすることのできる大切な期間です。



キヨロバスを利用し、たくさんの場所へ出かけ、歴史や自然など市内の様々な魅力を発見してください」と話しました。鮮やかに彩られたラッピングバスは、約20人の乗客を乗せ、9時30分、吉田町に向け出発していきました。

合言葉は「生涯健康」

運営委で基本方針「教育・評価・研究」を決定

7月23日、身体教育医学研究所うなん運営委員会が開催され、基本方針や今後の取り組みなどが話し合われました。

同委員会は「生涯健康でいきいきと生活できる小児期からの健康づくりの推進」を基本理念に平成18年4月に設立された「身体教育医学研究所うなん（以下、「研究所」）の運営方針や実践活動計画の審議及びその評価を行います。

今年度1回目となったこの日は、18年度の事業や決算、太極拳リズム体操リーフレット発行などの報告に続いて、基本方針や当面の取り組みなどを審議委員からは「地域運動指導員の研修を続けてほしい」、「研究所の認知度が低く、一部の人にしか伝わっていない」、「事業の評価という点について、『地域の評価』を含めたものにしてはどうか？」などの意見が出されました。研究所の役割や機能をより具体的に示す「教育・評価・研究」の基本方針も決定されました。

この基本方針に基づく研究所の活動が広く市民に定着し、健康づくりが推進されることを期待します。



出席者による太極拳リズム体操

雲南ニュース

県内各地で全国高等学校総合文化祭しまね'07が開催され、8月1日、2日の2日間、雲南市では「日本音楽部門」が行われました。県内7校（37名）の生徒で構成された島根合同の演奏曲「まほら※」が大会の最初を飾り、各県代表校のレベルの高い演奏が繰り広げられました。会場を訪れた観客の一人は「素晴らしい演奏に鳥肌がたつた」と感動を口にしていました。

「まほら」とは「素晴らしい場所」を意味する古語



島根合同の演奏

リッチモンドサマースクール

今年も雲南市青少年海外視察等派遣事業として、アメリカ・リッチモンド市に12日間の日程で滞在するリッチモンドサマースクールへ7人の中学生が旅立ちました。出発前の8月2日に行われた壮行式で、団員を代表して細田はるかさんが「現地での様々な活動を通じて日本で学べないことを吸収したい」とあいさつ。

8月7日から18日までのリッチモンド市でのホームステイを通じて、団員らは異文化の理解、英語の表現力や理解力を深めます。



リッチモンドサマースクール派遣団員

後列左から永井博崇さん（掛合中2年）、後山裕さん（掛合中3年）、川口ノビルさん（大東中2年）、狩野梨沙さん（大東中3年）、前列左から榎晴菜さん（大東中3年）、原恵里奈さん（大東中3年）、細田はるかさん（大東中3年）

雲南市長の「コ・ラ・ム

雲南ブランド化プロジェクトが進められています。雲南市ならではの地域資源に気付き、それらを活かしたまちづくりを進め、そうした雲南市に住むことを幸せと思えるようにとの願いを込めた「幸運なんです。雲南です。」の言葉も、赤いポスターや2台の広域路線バスの車体などあちこちで見られるようになりました。

8月の初めには、このプロジェクトの一環として、雲南市の公共施設の有効利用を図ることを目的として、20数名の早稲田大学の学生さんが約2週間滞在されました。滞在初日の夜、加茂町の女性有志の皆さんによる手作り料理での夕食会が開催されました。正真正銘の地元産の食材と美味しさに大学生の皆さんは心底感激され、こんな幸せを体感出来ることこそ「幸運なんです。雲南です。」そのものとも言ってくださいました。

また、下旬には一橋大学の数人の学生の皆さんが幸運さがしに5日間滞在され、発表もいただきました。こうした外からの意見、指摘はブランド化プロジェクトの推進にとって必須条件だと思います。



成人式にて（8月14日）

さわやかな笑顔とあいさつで歓迎

全国高等学校総合文化祭しまね'07